

Oak Wind Symphony

第31回 定期演奏会



2016年5月29日(日)
横浜市・磯子公会堂

後援：横浜市文化観光局
柏陽高校吹奏楽部OB会「つばさの会」

ごあいさつ

Oak Wind Symphony
団長 竹内 連

本日はお忙しい中、私どもの演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

私どもOak Wind Symphonyは、前身である柏陽高校吹奏楽部OBバンドでの約18年の活動後、2000年8月に一般バンドとして誕生して今 年で16年目を迎えました。今年の1月には第30回記念の定期演奏会を開催し、大変多くのお客様にご来場いただきました。この横浜でこのよう に長く安定的に活動できますのも、ひとえに皆様の温かいご支援の賜物と団員一同心より感謝申し上げます。

今回の第31回定期演奏会は、それぞれに個性的な3つのステージから構成されています。第1部は吹奏楽オリジナル曲のステージで、いざ れの曲も吹奏楽編成で使用される楽器が一番効果的かつ表現豊かに演奏されるように作曲されています。第2部は、吹奏楽の演奏会ではな かなか聞くことができないビッグバンドのステージです。当団のビッグバンドは、団員の有志メンバーで編成されており、通常の吹奏楽の練習に 加えて日々練習に励んでいます。リズムの良い曲を多く取り上げてありますので、客席の皆様も是非リズムに乗ってお楽しみください。第3部は 再び吹奏楽編成に戻り、ポップス曲をお送りします。皆様にも耳なじみの深い曲も多いことと思います。皆様と一緒に楽しむことができるステージ になれば嬉しく思います。

最後になりましたが、日頃より熱心にご指導いただいている榮村正吾先生と、本日の演奏会に後援いただいている横浜市文化観光局および 柏陽高校吹奏楽部OB会「つばさの会」、そしてご来場の皆様に厚く御礼申し上げます。

常任指揮者

榮村正吾

1991年東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。

在学中に安宅賞受賞、東京文化会館新人音楽会に出演。シエナ・ウインド・オーケストラのサクソフォーン奏者として1年間活躍。卒業後アサヒビール芸術文化財団の助成金を受け渡仏。フランス國立セルジー・ポントワース音楽院高等科に入学。1992年、パリ国際コンクール第2位受賞。同年同音楽院を首席で卒業、1993年、レオポルド・ベラン・コンクールにおいて第1位および大賞受賞。同年同音楽院演奏科を修了。

フランスをはじめ、ベルギー、イタリア、デンマーク等ヨーロッパ各国において演奏会、音楽祭に出演、好評を博す。帰国後東京文化会館において第1回リサイタルを開催。NHK-FM土曜リサイタルに出演。第10回ワールドサクソフォーンコングレス(イタリア)、同第11回(スペイン)にそれぞれ参加。

サクソフォーンを佐藤典夫、大室勇一、富岡和男、須川展也、ジャン=イブ・フルモーの各氏に師事。

現在、シエナ・ウインド・オーケストラ サクソフォーン奏者、昭和音楽大学講師など幅広く、精力的に活動している。



団内指揮者

本日、第3部の指揮をいたします！

♪ ドレミの歌



小野剛司
Saxophone

♪ 魔法にかけられて



志水栄雄
Percussion

♪ ウィー・アー・オール・アローン



井上正人
Clarinet

第 1 部

指揮：榮村正吾

シンフォニア・ノビリッシマ
Sinfonia Nobilissima for Band

ロバート・ジェイガー
Robert Jager

焰
Flame

島田尚美
Naomi Shimada

「鳳凰」～仁愛鳥譜
"Ho-O" ~Jin-ai cho-hu for wind ensemble

鈴木英史
Eiji Suzuki

第 2 部 Big Band Stage

Switch in Time

Sammy Nestico

But not for me

George Gershwin

心の旅

Kazuo Zaitsu
arr. Toru Nakajima

Four Brothers

Jimmy Giuffre

第 3 部

ドレミの歌
Do – Re – Mi

リチャード・ロジャース／arr. 星出尚志
Richard Rodgers / arr. Takashi Hoshida

魔法にかけられて
Enchanted

アラン・メンケン／arr. 鈴木英史
Alan Menken / arr. Eiji Suzuki

ウィー・アー・オール・アローン
We're All Alone

ボズ・スキヤッグス／arr. 小野崎孝輔
Boz Scaggs / arr. Kosuke Onozaki

ジャパニーズ・グラフィティ XVII
美空ひばりメドレー

Japanese Graffiti XVII – Hibari Misora Medley

arr. 星出尚志
arr. Takashi Hoshida



PROGRAM N O T E S

(第 1 部)

シンフォニア・ノビリッシマ ロバート・ジェイガー

この曲を作曲したロバート・ジェイガーはアメリカの作曲者で、吹奏楽やオーケストラのために数多くの曲を手がけており、これまで多くの賞を受賞しています。その中でも、1965年に作曲されて以来、日本でも不動の人気を誇っているのが「吹奏楽のための高貴なる楽章」とも訳されるこの「シンフォニア・ノビリッシマ」です。

この曲には、氏が婚約者のために捧げたというエピソードからもわかるとおり、熱烈かつ重厚な響きのオープニング、アンダンテの中で叙情的で美しい旋律が歌われる中間部など、心に訴えかけるような印象的なフレーズが随所にちりばめられています。また、多彩な楽器が次々とその姿を現しては、それぞれの魅力ある音色を奏でるこの曲からは、氏の吹奏楽への深い愛情を演奏者として感じ取ることもできます。

氏のさまざまな愛情が感じられるこの不朽の名作に、私どもの愛情をさらに乗せて、本演奏会のご挨拶代わりにお送りいたします。どうぞごゆっくりお楽しみください。

(B♭ Clarinet／竹内 連)

焰

島田尚美

「ほむら」と読みます。焰とは、すなわち「炎(ほのお)」のこと、諸説はありますが「火(ほ)」の「群(むら)」が語源であるとも言われています。

作曲者の島田尚美は、「作曲の際に私が持っていた、いくつかの幻想」を端的に表す言葉として「焰」を選んだと述べています。単独、あるいは複数の焰が、空気の流れにより常に揺れ動き、瞬間瞬間で形や輝きを変えていく姿は、まさにこの作品の根幹のイメージを象徴していると言えます。

また「ある意味で非常に女性的な曲に仕上がったと思っています。曲全体を通して優しく穏やかな響きと、ヒステリックで激しいエネルギーが交差しています。全ての女性が抱く、生きる不安の反映…」とも述べており、その言葉どおり、表情の振れ幅の大きい、ダイナミックな作品となっています。

冒頭にフルートとピッコロでこの曲のテーマが提示されます。半音で揺れ動きながらも全体としては上昇していくテーマの音型は、焰の形そのものをイメージさせます。このテーマが曲全体で、様々に変容しながら繰り返し表れます。途中には踊りの場面もはさみながら、後半では夥しい焰が荒れ狂うかのごとく、クライマックスの波が次々と押し寄せ、激しく曲を閉じます。

第8回全日本吹奏楽連盟作曲コンクールで1位を受賞し、今年度の全日本吹奏楽コンクールの課題曲として採用された作品です。

(Percussion／志水栄雄)

「鳳凰」～仁愛鳥譜は、滋賀県のアマチュア吹奏楽団・大津シンフォニックバンドの委嘱により2004年に作曲された吹奏楽オリジナル曲です。この作品は、作曲者鈴木英史氏の「愛」をテーマとした連作『ライフ・ヴァリエーションズ～生命と愛の歌』、『カントウス・ソナーレ』に続く第3作目として作曲されました。

鳳凰とは、古くから中国の伝説にみえる想像上の瑞鳥のことであり、首は蛇、尾は魚、あごは燕、くちばしは鶴、背は亀に似ており、五色の模様の羽根を持つとされています。また、中国の五行思想において鳳凰は、火を司る神「朱雀」とも呼ばれ、炎の象徴としても広く知られています。

この曲は、想像上の生物である鳳凰と、作曲者鈴木氏が敬愛する漫画家・手塚治虫による「火の鳥・未来編」の世界観をイメージして作曲されています。

漫画「火の鳥」は、これら鳳凰の伝説にインスピレーションを受け、古代から超未来までを舞台にして、人間の愚かさと宿命、生命の本質や愛を壮大なスケールで描いた作品です。この曲の世界観の基となった「未来編」は、西暦3404年が舞台となっており、荒廃した地球上で、世界大戦により絶滅した人類の再生を描いた作品です。

「鳳凰」～仁愛鳥譜は、そういう世界観にインスピレーションを受けて作曲された、生きとし生けるもの全てに捧げる命の讃歌です。

冒頭、木鉦(もくしょう)を中心とする鋭い打楽器音に導かれ曲が始まり、序盤は生命の強さ、未来永劫への発展を表す主題が奏されます。その後、弱奏部に入り、深淵とした生の悲哀を感じさせ、生命の輪廻(生死)を表現しています。それも束の間、急速部に入り人類の築いた機械文明を表す場面が始まり、後半は鳳凰の恩寵を示すテーマをトロンボーンとユーフォニアムで奏します。終結部は、打楽器群の連打が徐々にテンポを上げていき、再び生命の主題が全貌を現し、高鳴るトランペットのハイトーンや、木管群やホルンの上昇がクライマックスを形成し、悠久の響きを残して曲は幕を閉じます。

(Trombone／戸井真智)

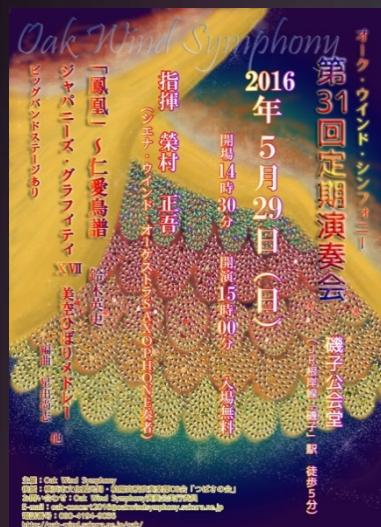
今回の定期演奏会のメイン曲タイトルでもある「鳳凰」は、「鳳」が雄、「凰」が雌でつがいなのさうです。そして、私たちの身近なところにも鳳凰はいます。一万円札の裏です。

ところが見てみると、1羽しか描かれていません。

というわけで、一万円札の鳳凰は雄と仮定し、この雄はお札を抜け出して飛び立ち、雌のもとへ会いに行つた、というストーリーを作りました。

- チケット裏面：お札を抜け出して福沢諭吉もびっくり
 - チラシ：飛んでいる雄の羽のアップ
 - チケット表面：雌のもとへ会いに来た場面
- ※ 雄の羽だけ鮮やかで、雌の羽が一色なのは創作です

(第31回定期演奏会 チラシチケットデザイン B♭ Clarinet／広島愛子)



BIG BAND STAGE

Switch in Time

The Count Basie Orchestra

「学生ビッグバンドの聖典」ともいわれるカウント・ベイシー楽団の名盤『Basie Straight Ahead』(1968)からの1曲。名曲揃いのこのアルバムの中でも、タイトル曲「ベイシー・ストレート・アヘッド」と並んで演奏機会の多いのがこの曲です。ノリの良いトロンボーンのイントロから始まり、マイナーブルースを基調としながらも斬新なコード進行が印象的。作曲者であるサミー・ネスティコは、1970～80年代のベイシー楽団を支えたビッグバンド界の大御所的存在で、その作曲数は600以上に上り、90歳を超えた現在でも精力的な活動を続けています。

But not for me

ジョージ・ガーシュウィンの手による、1930年初演のミュージカル『Girl Crazy』の挿入歌。ガーシュウィンが音楽を手掛けたミュージカルの中でも一番のヒット作とされ、この曲の他にも「I Got Rhythm」等、多くの挿入歌が現在までジャズ・スタンダードとして親しまれています。しつとりと歌い上げる原曲とは違い、ミディアムテンポの軽快なナンバーに仕上がったビッグバンドヴァージョンをお楽しみください。

心の旅

Arrow Jazz Orchestra

「日本(Japan)の名曲をJazzに生まれ変わらせる」というコンセプトの元に始まったプロジェクト、「J・J-Standard」の第一弾、『J・J-Standard Ⅰ』(2010)からの一曲。現在3枚がリリースされているこのシリーズでは、歌謡曲、アニメソング、映画音楽等、様々なジャンルの往年の名曲を、関西の老舗ビッグバンド、アロー・ジャズ・オーケストラによる演奏で聴くことができます。ジャズナンバーとして生まれ変わったチューリップの名曲をお楽しみください。

Four Brothers

Woody Herman Orchestra

サックスセクションをフィーチャーした、ウディ・ハーマン楽団の1947年のヒットナンバー。スタン・ゲッツ、ズート・シムズといった名プレイヤー達の一糸乱れぬアンサンブルと白熱のソロバトルは大人気を博し、当時のハーマン楽団は「フォーブラザース・バンド」と呼ばれて一世を風靡しました。現在でもサックス吹きなら一度はやってみたいチャレンジナンバーとして、多くのバンドで演奏されています。本日のメンバーは、伝説のサックスセクションにどこまで迫れるでしょうか?

MEMBERS

Saxophone

小野剛	司	(Soprano & Alto)
堀下美	樹	(Tenor)
井上宏	美	(Alto)
櫻井秋	来	(Tenor)
佐藤恭	子	(Alto & Baritone)
竹内連		(Clarinet)

Trumpet

貞木	松	正	樹
藤田	村	正	宏
木村		哲	朗
上妻		知	愛
佐藤		容	世子

Trombone

片岡		優
田村		理
鈴木	彩	織
戸井	真	智

Rhythm

竹内	恵	美	(Piano)
池見		浩	(Drums)
山岸		昇	(Bass)

(Trombone／片岡 優)

PROGRAM NOTES (第3部)

ドレミの歌

リチャード・ロジャース

「ドはドーナツのド、レはレモンのレへ♪」という歌詞でお馴染みのこの曲。ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」では、ヒロインのマリア・ライナー先生がトラップ一家の子ども達に歌の楽しさを教える場面で歌っています。分かりやすい歌詞と歌いやすさから、子どもから大人までご存知の方も多いのではないでしょうか?

第III部1曲目にふさわしい華やかな幕開けと、様々な楽器に受け継がれていくメロディー、リズムセクションから吹奏楽の魅力、音楽の楽しさを感じ取ってみてください!

(Horn／高橋志帆)

魔法にかけられて

アラン・メンケン

2007年に公開されたディズニーのミュージカル映画「魔法にかけられて」。おとぎ話の世界に住む主人公ジゼル姫は、出会ったその日にエドワード王子と婚約します。エドワード王子の継母で魔女のナリッサは、自身の女王の立場をジゼルに取られてしまうことを危惧し、「永遠の幸せなど存在しない世界」ニューヨークにジゼルを追放します。ニューヨークで様々なドタバタ劇を起こすジゼル姫ですが、偶然出会ったバツ1子持ちの弁護士ロバートと次第に恋に落ちていきます。

今回はそんな「魔法にかけられて」から、壮大で美しいメロディーが印象的な「真実の愛のキス」、オーボエの可愛らしいソロがある「魔法の王国アンダレシア」、美女と野獣のフレーズをクラリネットソロが奏でる「ナサニエルとピップ」、踊りだしたくなるようなメロディーとドラムが印象的な「想いを伝えて+魔法にかけられて～組曲」をメドレーにしてお送りします。

音楽の素敵な魔法にかけられた気分でお楽しみください♪

(Horn／高橋志帆)

ウィー・アー・オール・アローン

ボズ・スキャッグス

米国を代表するシンガーソングライター ボズ・スキャッグス (Boz Scaggs)。彼が1976年に発表し、全米で500万枚を売り上げたアルバム「シルク・ディグリーズ」に収録されていたが、大きな話題にならなかった。しかし、翌年に発表されたリタ・クーリッジのカヴァーが大ヒットして再評価され、その後多くのアーティストのカヴァーやボズ自身のシングルリカットなどで、代表曲の一つになった。J-POPでも、アンジェラ・アキや平井堅がアルバム収録曲でカヴァーしている。

この曲の歌詞では、「泣くだけ泣いたら、新しく生きてゆこう」といった趣旨の言葉が繰り返され、その後にWe're All Aloneと歌われている。その為、曲名の意味や歌詞の解釈については、「二人だけ」か「しょせん一人ぼっち」なのかの議論がある。ボズ自身は、両方の世界の両立を目指したと述べており、本日ご来場の皆さまには、ぜひ一度歌詞も読まれることをお勧めしたい。

ちなみに、この曲を最初に発表した「シルク・ディグリーズ」のスタジオミュージシャン3人が、この時の共演を契機に1977年に結成したバンド、それがTOTOである。

(Percussion／池見 浩)

ジャパニーズ・グラフィティ XVII 美空ひばりメドレー

arr. 星出尚志

『昭和を代表する歌手』を問われたら、「美空ひばり」と答える方も多いのではないでしょうか。没後、歌による功績を称えて女性初の国民栄誉賞が授与されています。その美空ひばりが、横浜市磯子区滝頭の生まれということをご存知でしょうか。

9歳の時、磯子区の杉田劇場で初舞台に立ち、横浜の地で歌手人生をスタートさせました。1989年に52歳の若さで亡くなるまで、レコーディング数は1500曲、オリジナル楽曲517曲を残しています。

本日の編曲では、数多くの楽曲の中から曲調も発表年も異なる4曲が選ばれています。さて、いくつおわかりになるでしょうか? メロディを聞けば思わず歌いだしたくなるような多彩なメドレーとなっています。

- (1) 小椋佳作詞・作曲で作られた「家族愛」をテーマにしたCM曲。その後多くの歌手にカバーされ現在も親しまれている情感豊かなバラードです。(1986年)
- (2) ひばり15歳の時の日本民謡を思わせる牧歌的な曲。青森県弘前市のりんご公園にはこの歌碑があります。(1952年)
- (3) 当時日本で流行のマンボのリズムで"お祭り騒ぎ"。2015年6月から東京メトロ銀座線神田駅の発車メロディになっています。(1952年)
- (4) 平坦ではない人生の歩みを振り返り、朗々と歌い上げた曲。美空ひばり本人の強い意向でシングルカットされ、150万枚のミリオンセラーを記録した生前最後のシングル曲です。(1989年)

奇しくも本日5月29日は、美空ひばりの誕生日です。そして当会場である磯子公会堂を出てみれば、目の前の歩道には「美空ひばり生誕記念碑」がたたずんでいます。不思議なめぐりあわせを感じつつ、客席の皆様へ名曲の数々をお届けいたします。

(B♭ Clarinet／志水玲子)

Oak Wind Symphony (第1部・第3部)

☆：団内指揮者 ♪：パートリーダー

Conductor

榮村正吾

Flute & Piccolo

♪ 荒井みちえ
大熊真悠子
竹内恵美
中俣美幸
吉岡紀子

E♭ Clarinet

☆ 井上正人

B♭ Clarinet

石井敬子
岩下直紀
志水玲子
高島百合野
高橋聖子
竹内連朋
中川潤一郎
肥野匠真
広島愛子
松林祥代
松宮千恵

Soprano

♪ & Alto Saxophone
☆ 小野剛司

Alto Saxophone

池田彩紀
櫻井秋来
♪ 関香子

Tenor Saxophone

西野笑弥
堀下美樹

Baritone

♪ & Saxophone
佐藤恭子

Horn

石川夏織
♪ 駒比路樹
高橋研介
高橋志帆
田中美紗樹

Trumpet・Cornet

♪ & Flugelhorn
木村愛宏

木村正世
上妻知世
斎藤博樹
佐々木結衣
貞松正樹
佐藤容子
藤田哲朗

Tuba

五十嵐史里
伊藤優実
♪ 真下勝実

Piano

河野亮太

Percussion

池見浩樹
岩崎大樹
加来佐知子
加藤結香
小林由佳
佐貞松真紗子
☆ 志水栄雄
♪ 田中祐一

Bass Trombone

石毛遙

司会 金重陽平

Euphonium

伊藤洋
川口莉奈
吉田愛

Oboe

大植めぐみ
♪ 松林雄一

Bassoon

奥田三香子
菊池愛
三隅真一

Alto Clarinet

河村俊志

Bass Clarinet

戸井瑠美



《Oak Wind Symphony 団員募集について》

◎ 募集条件

高校生以下不可(高校卒業見込の3月から可)

基本的に、ご自身で楽器を用意できる方(打楽器以外)

なお、初心者の方は当団側で受入態勢を整えられない場合があります。

◎ 練習日

：原則毎週土曜日夕方(本番前は追加練習あり)

◎ 練習場所

：横浜市南区を中心とした公共施設

◎ 連絡先

：meet-oak@oakwindsymphony.sakura.ne.jp

現在、募集を停止していますが、秋頃の再開を予定しています。 募集を再開次第ホームページでお知らせします。

Oak Wind Symphony 第32回定期演奏会



日時：2016年12月頃（予定）

場所：横浜市内公会堂（予定）

♪ イースト・コーストの風景（N.ヘス）

♪ 「千と千尋の神隠し」ハイライト
(久石譲／遠藤幸夫編)

♪ アンサンブルステージ ほか

日程が確定いたしましたらホームページなどでお知らせします

最新の情報は
ホームページを
ご覧ください！



<http://oak-wind.sakura.ne.jp/oak/>